

《 現代版聖書のルーツ 2 》

[PDFファイル](#)

■ 第二部 聖書本文RVはどこから？

● RVを作り出した人々

第一部では、ハンバーガー（現代版聖書）が、RVという『食材』に、現代版聖書編集者たちの**思想・信念**という『調味料』で『味付け』されたものであることがわかりました。

この第二部では、その**聖書本文RV**とは何か、そして何に由来するかを見ることにしましょう。

この聖書本文RVは、1881年、二人のイギリス人B.F.ウェストコットとF.J.A.ホートの主導により作られました。(詳細はE-1参照)

その聖書「改訂」委員会は、それまでのTR聖書であるキング・ジェームズ版聖書(KJV)を改訂するはずでした。

- B.F.ウェストコットとF.J.A.ホート...彼らがRV作成を主導しました。ただし、彼らは**悪霊との交信者たち**であり、『幽霊ギルド』の創立メンバーでした。『[ウェストコットとホートの思想と神学](#)』

- G.V.スミス...彼は**ユニテリアン派**（三位一体を否定。イエス・キリストの神性を否定）の学者でした。彼はイエス・キリストの神性も、あがないも、聖書の靈感も**否定**しました。

彼は、RVが**ユニテリアン派の教えを支持**するものであることを、はっきりと信じていました。

『[G・V・スミスについて](#)』

このG.V.スミスについて、次のような記録があります。

スミス**をRV翻訳委員会からはずそうする試みがなされた時、ウェストコット、ホート、スタンレー、サールウォールはスミスに味方し、「スミスがはずされるなら、我々は辞める」と脅**しました。

この卑劣な出来事は、[ジョン・W・バーゴン](#)師著の『The Revision Revised』の序文の中で、[A.G.ホブズ氏](#)によって記されています。

[スミスが聖餐式に参加したことにより] 『何千人もの聖職者たち』による抗議の署名がなされ、英国上院は、次のことを決議しました。

『我々の主なるイエス・キリストの神性を否定する者はだれも、
欽定版聖書改訂の委員として加わるべきではない。...』

これは下院でも議決されました。それにもかかわらず、彼らはこの不信者をその委員会からはずすことができませんでした。

驚くべきことに、スタンレー監督、ウェストコット、ホート、サールウォール監督はみな、もしスミスが追放されるなら、この任に就くことを拒むと主張しました。

聖書が、『なぜなら、その人に喜びのあいさつを言う人は、その人の邪悪な行いにあずかるからです』（第二ヨハネ9～11）と教えていることを思い起こそうではないでしょうか。

非常に多くの箇所でもキリストの神性が軽んじられているのは、何ら不思議ではありません」

A.G.ホブズ、『The Revision Revised』（バーゴン師著）の序文

スミスは、RVにおける聖書本文の数々の変更も、ウェストコットとホートによるギリシャ語新約聖書も、自分の神学を反映しているものであると証言しました。

KJV聖書（欽定訳聖書）よりも現代版の本文のほうが神学的に優れているものとしてスミスが挙げた箇所のいくつかは、ローマ9・5、第一テモテ3・16、テトス2・13、そして第一ヨハネ5・7でした。

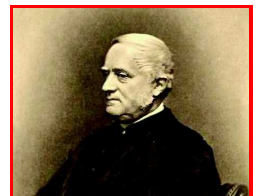
そして、その理由は、その批判的な本文のそれらの箇所では、キリストの神性（これはスミスが拒んだことでした）が弱められているから、ということなのです。

[The Unitarians & Modern Critical Greek NTs](#)

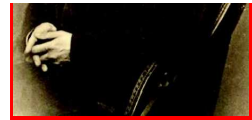
● 委員会から追い出されたスクリブナー博士

[F.H.A.スクリブナー博士](#)は、非常に学識のある神の人であり、新約聖書の写本および聖書本文の歴史に関し、当時、最も有能で卓越した本文批評学者でした。（TR編纂者の一人）

当初、彼はその委員会に関わっており、その流れをせき止めようとしたが、投票によって委員会から追い出されました。



ホートは大多数のメンバーに対し、**自分とウェストコットとの翻訳**を受け入れるよう説き伏せ、それ以外のどんな意見もほとんど**除外**しました。



主導者の**F.J.A.ホート**について、さらに見てみましょう。

● 「**TR**打倒」の野心を抱いていたホート

フロイド・N・ジョーンズ博士はこう述べています。

「**F.J.A.ホート**(1828年～1892年)は、1851年(23歳の時)、こう書き記しました。

「**ギリシャ語聖書をほとんど読んだことがなく、あの悪辣(あくらつ)なTR**にずっと引きずられてきた私は、数々の聖書本文が重要であることを、つい数週間前まで全く考えていなかった。

あの**悪しきTR**が.....」(注1)

このように、わずか**23歳**の時、ホートは自分には予備的な背景がほとんどないことを認めて、**TR**を「**悪しき**」、「**悪辣(あくらつ)な**」ものであると決めつけたのです。

その時、彼はこの**TR**を**打倒**することに自分の人生を献げ、それを別の本文

【F.N.ジョーンズ博士】

に**取り替え**ようと考えたのです。



彼が最終的に**TR**と**置き換え**た聖書本文が、**バチカン写本**でした。

この決断をした時、若きホートは古典ギリシャ語を学ぶ学生であり、新約聖書がそのギリシャ語で書かれたのではないことを知っていませんでした。

TRで記録されている**新約聖書のギリシャ語**が古典ギリシャ語の構文に厳密に則してはいなかったため、ホートはそれを「**粗悪なギリシャ語**」(注2)とみなしたのです。

この**思い違い**のため、彼は性急にも、**TR**を「**悪しき**」、「**悪辣な**」ものと呼んだのです。

実際、新約聖書が古典ギリシャ語では書かれたのではなく、**コイナー**という標準ギリシャ語で書かれたことを証明したエジプトのパピルス写本は、まだ発見されていなかったのです」

(注1) A.F.Hort (息子) 著 『[父] F.J.A.ホートの生活と手紙』

"Life and Letters of Fenton John Anthony Hort,第一巻 p.211

(注2) J.P.Green,"Unholy Hands on the Bible",Vol.2,p.454

● 聖書本文RVの編集者たちとは？

おもな三人の委員は、次のような人々でした。(E-1)

■ B.F.ウェストコット

RV編集を主導

- 悪霊との交信者
- 『幽霊ギルド』を設立して心霊術に関わり、オークランド城(イギリス)やペテルブルグの大聖堂(ロシア)で悪霊との「交信」を行った。
- 進化論を支持
- イエス・キリストの神性を否定
- 聖書の靈感を否定

RV編集者



■ F.J.A.ホート

RV編集を主導

- 悪霊との交信者
- 『幽霊ギルド』を設立して心霊術に関わった。以前はウェストコットの弟子であった。
- TRを敵対視した。
- 進化論を支持
- イエス・キリストの神性を否定
- 聖書の靈感を否定

■ G.V.スミス

RV編集委員

- ユニテリアン派
- 三位一体を否定
- イエス・キリストの神性を否定
- イエス・キリストのあがないを否定
- 聖書の靈感を否定

つまり、これらのRVの編集者たちは、

- 【イエス・キリストの神性を否定する】

- 【聖書の靈感を否定する】
- 【TRを敵対視する】
- 【悪霊との交信者】 や 【ユニテリアン派】 の人々であり、

彼らの**思想・信念**は、こうでした。

- 【イエス・キリストの神性を否定】
- 【聖書の靈感を否定】
- 【イエス・キリストのあがないを否定】
- 【三位一体を否定】
- 【進化論を支持】



このような人々から成る委員会での『話し合い』によって**RV**が編集されて作られたのです。
彼らは何をしたのでしょうか？

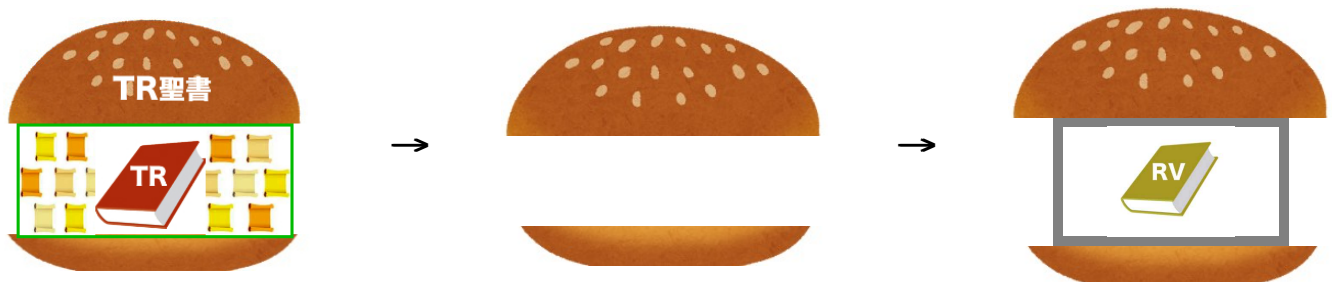
● 聖書本文のすり替え

1881年、イギリスの『聖書改訂委員会』は、英国国教会が与えていた**指示に反して**事を進め、非常に**異質**の新約聖書を作り出しました。 (E-1)

この委員会が行ったのは、それまでの聖書の基となっていた**TR**聖書本文を取り除き、**RV**聖書本文で**入れ替える**ことでした。全く**驚くべき、大変化**が強行されたのです！ (下図参照)

これは、ハンバーガーに使う『牛肉』を、『米国産』の肉から『国産』の肉への変更という程度の『改訂』ではありませんでした。

これはまさに、『牛肉』から『大ネズミ』の肉への『すり替え』でした！



しかも、このことは、「キリスト教界でほとんど**知られない事実**、**厳重に保護された秘密**」とされてき

ました。

《F.N.ジョーンズ博士》



「彼らは、単に英語という言語を改善するのではなく、**根本的に異なる**ギリシャ語本文**RV**を作り出し、**非常に異質の聖書**を作り出しました。

その委員会は**TR**を価値のないものとして**排除**し、**全く異なる聖書**を作り出したのです。

このことは、キリスト教界でほとんど**知られていない事実**であり、嚴重に保護されてきた**秘密**の一つです。これらの出来事について知っている人々、信徒、あるいは牧師は、**ごくわずかで**す。

その委員会が作り出したものには『改訂版』（Revised Version **RV**）という**誤解を招く名前**が付けられましたが、それは本当は『改訂版』ではありませんでした」

（フロイド・N・ジョーンズ博士 **E-1**）



この**RV**に基づく聖書を、それまでの**KJV**聖書（欽定訳聖書）の『改訂版』あるいは『改善版』と思っている人は、現在も多くいるはずで

なぜなら、この聖書本文の『**すり替え**』の事実が正しく伝えられないまま、モダニズム、合理主義、**ユニテリアン主義**、**リベラル主義**などの潮流の中で、アメリカの**神学校**や**聖書大学**などで**RV**に基づく聖書が広まるようになり、今日に及んでいるからです。

そのため、「**神学教育を受けた人ほとんどの人は**、『**TR**聖書本文～**KJV**聖書』について**知らずにいる**」（第一部**デイビッド・クラウド**氏『**知られていない事実**』参照）という状況が続いているのです。

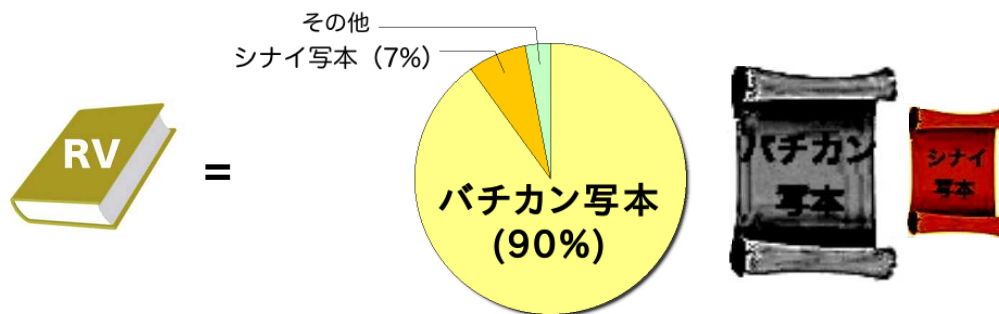
こうして、1881年、そこに突然現れたのは、『**根本的に異なるギリシャ語本文**』でした。次に、この聖書本文の構成を調べてみましょう。

● 聖書本文**RV**の構成

この**RV**の構成要素は、何なのでしょう？

フロイド・N・ジョーンズ博士を初めとする専門家たちは、こう分析しています。

- 「聖書本文**RV**の**90パーセント**は一語一語がそのまま**バチカン写本**からのものであり、残りの10パーセントのうち、約**7パーセント**は**シナイ写本**からのものです。...



現代の数々の聖書本文は、その**90パーセント**は**バチカン写本**を土台とし、**7パーセント**は**シナイ写本**を土台とし、約2.5パーセントはアレクサンドリア写本を土台とし、残りの0.5パーセントは他の少数の初期の大文字写本を土台としています」

(フロイド・N・ジョーンズ博士 [E-1](#))

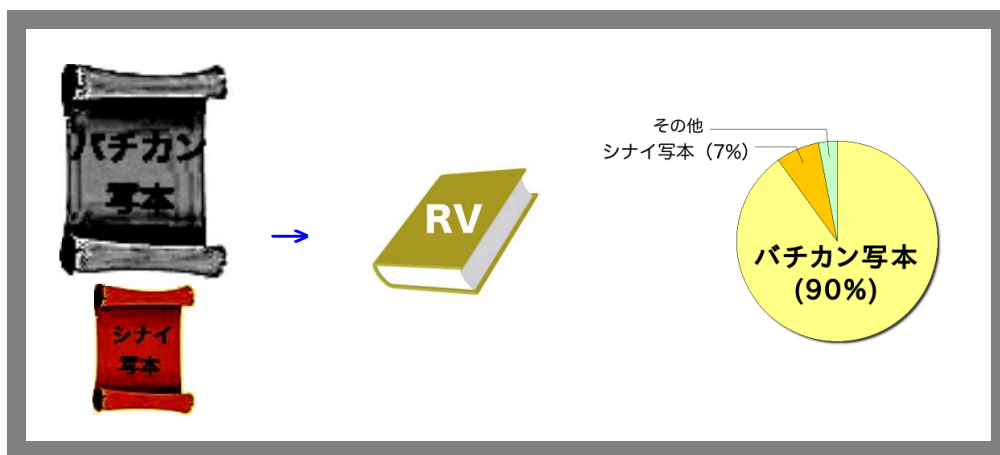
- 「このギリシャ語本文 (**RV**) は、おもに**バチカン写本**および**シナイ写本**に従っています」
(["New Commentary"](#) ほか)
- 「ホートは**バチカン写本**を**権威の座**へと高めました」 (フレデリック・ケニヨン博士)

- 「**バチカン写本**の中のページが欠けている場合、ホートは**シナイ写本**を使用しました。
ホートとウェストコットは、この二つの写本の読み方が一致する場合は、その読み方を『使徒的なもの』として受け入れるべきだとみなしたのです。...

ウェストコットとホートの本文 (**RV**) は、**実質的に、すべてバチカン写本**なのです」

(ジャスパー・J・レイ師およびホスキアー師)

つまり、**バチカン写本**・**シナイ写本**から、プロテスタントのクリスチャンたちに受け入れられる66巻の聖書を作り出すために、ウェストコットとホートらの委員会によって『加工』が施され、聖書本文**RV**が作られたのです。






こうして、RVは、**主成分**が**バチカン写本**であり、おもな**副成分**が**シナイ写本**であることがわかります。

まとめると、こうなります。

★RVは、**バチカン写本・シナイ写本**に由来する。

★RVは、**主成分**が**バチカン写本**であり、おもな**副成分**が**シナイ写本**である。


=

+


《RVの編集者たちの**思想・信念**》

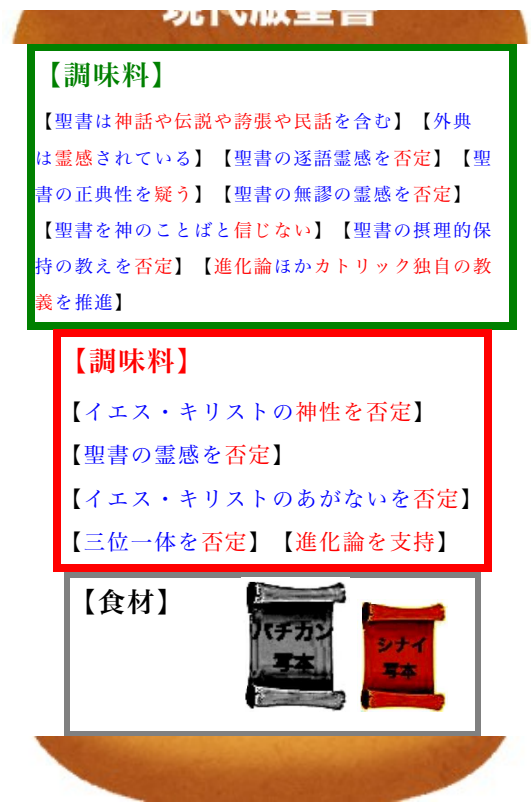
- 【イエス・キリストの**神性を否定**】
- 【聖書の**靈感を否定**】
- 【イエス・キリストの**あがないを否定**】
- 【**三位一体を否定**】
- 【**進化論を支持**】

これを、第一部で作られたハンバーガーに当てはめると、こうなります。





=



《第一部・第二部のまとめ》

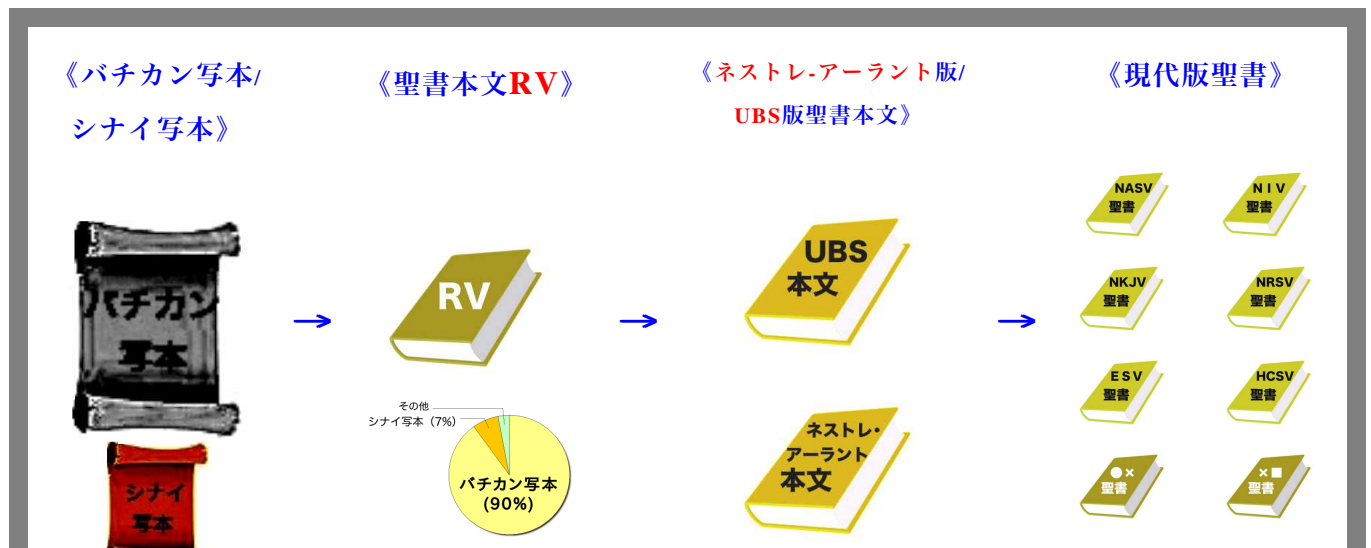
第一部でUBS版・ネストレ-アーラント版に基づく現代版聖書に関して導き出された結果は、こうでした。

「現代版聖書は、おおむね、聖書本文RVに由来する」

そして第二部では、そのRVがバチカン写本・シナイ写本に由来していることを見ました。

したがって、現代版聖書は、RVを経由して、この2写本に大きく依存していることがわかります。

第一部と第二部をまとめると、次の図式と結果が導き出されます。



★現代版聖書は、おおむね、**バチカン写本・シナイ写本**に由来する。

★現代版聖書は、**主成分**がバチカン写本であり、おもな**副成分**がシナイ写本である。

おもな『RV編集者』は、次の通りです。

■ B.F.ウェストコット

RV編集を主導

- 悪霊との交信者
- 『幽霊ギルド』を設立して心霊術に関わり、オークランド城（イギリス）やペテルブルグの大聖堂（ロシア）で悪霊との「交信」を行った。
- 進化論を支持
- イエス・キリストの神性を否定
- 聖書の靈感を否定

RV編集者



■ F.J.A.ホート

RV編集を主導

- 悪霊との交信者
- 『幽霊ギルド』を設立して心霊術に関わった。以前はウェストコットの弟子であった。
- TRを敵対視した。
- 進化論を支持
- イエス・キリストの神性を否定
- 聖書の靈感を否定

■ G.V.スミス

RV編集委員

- ユニテリアン派
- 三位一体を否定
- イエス・キリストの神性を否定
- イエス・キリストのあがないを否定
- 聖書の靈感を否定

ここまでのことから、『現代版聖書』というハンバーガーを分析してみましょう。

現代版聖書

【緑色調味料】

【聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む】【外典は靈感されている】【聖書の逐語靈感を否定】【聖書の正典性を疑う】【聖書の無謬の靈感を否定】
 【聖書を神のことばと信じない】【聖書の摂理的保持の教えを否定】【進化論ほかカトリック独自の教義を推進】

【赤色調味料】

【イエス・キリストの神性を否定】
 【聖書の靈感を否定】
 【イエス・キリストのあがないを否定】
 【三位一体を否定】【進化論を支持】

【食材】



→ 【緑色調味料】 と 【料理人】

→ 【赤色調味料】 と 【料理人】

《現代版聖書》

★ネストレ-ア-ラント版/UBS版全聖書



=

すなわち、こうして出来上がったハンバーガー（現代版聖書）とは、

- 【1】 まず、B.F.ウェストコット、F.J.A.ホート、G.V.スミスらの『料理人』が、バチカン写本・シナイ写本という【食材】の上に自分たちの思想・信念という『赤色調味料』を加え、
- 【2】 次に、その上に、K.ア-ラント、M.ブラック、B.M.メツガー、マルティニらの『料理人』が自分たちの思想・信念という『緑色調味料』を加え、
- 【3】 最後に、それが翻訳されて作られた『合成化合物』なのです。

言い換えると、こうなります。

このハンバーガー（現代版聖書）とは、おおむね、

【1】 まず、RVの編集者たち、すなわち、

- 【イエス・キリストの神性を否定する】
- 【聖書の靈感を否定する】
- 【TRを敵対視する】
- 【悪霊との交信者】や【ユニテリアン派】という人々により、

【イエス・キリストの神性を否定】

【聖書の靈感を否定】



【イエス・キリストのあがないを否定】

【三位一体を否定】

【進化論を支持】

という彼らの**思想・信念**をもって【**食材**】であるバチカン写本・シナイ写本からRVが作られ、

【2】次に、現代版聖書の**編集者**たち、すなわち、

- 【聖書の逐語・無謬の靈感を否定し、神のことばと信じない】
- 【不可知論者との共著者である】
- 【キリスト教の根本教理に**大胆に反対する**】
- 【**カトリック的統合**に向けて**エキュメニカル運動**を推進する】人々により、



【聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む】・【外典は靈感されている】

【聖書の逐語靈感を否定】・【聖書の正典性を疑う】

【聖書の無謬の靈感を否定】・【聖書を神のことばと信じない】

【聖書の摂理的保持の教えを否定】

【進化論ほかカトリック独自の教義を推進】



という彼らの**思想・信念**をもってネストレ-アーラント版/UBS版聖書本文が作られ、

【3】最後に、それが**翻訳**されて作られたものです。

したがって、現代版聖書を『**読む**』とは、

この【**食材**】も、『**赤色調味料**』も、『**緑色調味料**』も、

全部自分の内に取り込むことを意味します！



また、ハンバーガー（現代版聖書）の『**ショップ**』であり『**生産工場**』である**聖書協会UBS**が、次のような団体であることもわかりました。

1. 設立当初から『**ユニテリアン派**』の影響を大きく受けている。
2. 要職に**枢機卿**が就任するなど『**ローマ・カトリック**』との関わりが深い。
3. 『**その人の私的な信条がどのようなものであれ**』『**教派や教理の相違に関係なく**』という姿勢をもって『**エキュメニカル運動**』を推し進めている。

次の第三部（準備中）では、この【食材】であるバチカン写本・シナイ写本を調べることにしましょう。

《神のことば》

「なぜなら、私たちは、**神のことばに混ぜ物をしている**、あの多くの者たちのようではないからです」（第二コリント 2・17）

「私たちは...恥ずべき隠されたことを棄て、悪賢さをもって歩むことをせず、**神のことばにごまかしを行う**こともせず、...」（第二コリント 4・2）

([D-1](#) 第二コリント6・14～18)

[→次へ \(E-10\)](#)

[聖書の歴史 目次](#) [E-1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [11](#) [12](#)

[聖書の歴史 概観表](#)

[さらに深く学ぶためのリンク集](#)

[聖書のホームページ](#)

[TR 新約聖書](#)

選択カテゴリにジャンプ!

[利用規約](#) Copyright C. エターナル・ライフ・ミニストリーズ